

University of Findlay

8月 月例報告書

原木梨帆

○出発から到着

出発当日は、自分がアメリカに行くことをあまり実感していませんでしたが、飛行機に乗ったところで自分がアメリカに留学に行くことを実感しました。12時間のフライトはとても疲れました。デトロイト空港に到着後、他の留学生を2時間ほど待ち、空港を出たのが8時過ぎでした。空港からフィンドレー大学までは車で1時間半ほどだったのでフィンドレー大学についた時には10時近くになっており、その日は日用品を買いに行くことができませんでした。ハウスには、掛布団や枕などはなく自分で購入しなければなりません。またハウスの中は夏でもとても寒く掛布団が必須です。

私以外の協定留学の生徒は1日早くデトロイト空港に到着していたので、早くフィンドレー大学に到着することができ日用品を購入していました。到着した翌日にはレベル分けのテストがあるため体調を整えることや時間に余裕を持つためにも指定日の1日前に到着しておくことをお勧めします。



○オリエンテーション

到着した翌日から1週間オリエンテーションがあります。そのオリエンテーションでは、学校の説明やキャンパスツアーが行われることはもちろん現地の学生や他の国からの留学生と交流することができました。また、日本では経験したことがない、外で映画を見る movie night が行われました。



○授業

授業が始まり、2週間ほどしかたっていませんが内容はとても簡単な内容です。英語のクラスは日本人が多いものの、ベトナム人、トルコ人、中国人、ブラジル人、サウジアラビア人がいます。私は英語の授業以外にも Genki kids という授業と日本語を勉強しているアメリカ人と交流する授業を取っています。どちらの授業も日本について改めて考えさせられる内容です。

○学食

大学には meal plan というものがあり、私は週5日学食を食べることができるプランにしています。学食には様々な種類の食べ物があり、日本にはないような甘いデザートもあります。



○Free food

大学内でイベントなどがおこなわれると無料のピザなどが配られます。日本にはこのようなことはないのもとても驚きました。



○まとめ

到着してから8月が終わるまではとても早く感じました。留学して1, 2週間は新しい環境でとても疲れましたが少しずつ生活に慣れてきています。